

先導的ITスペシャリスト等育成推進プログラム

資料 1 - 1

平成21年度要求額：2,543百万円
 (平成20年度予算額：828百万円)

大学間及び産学の壁を越えて潜在力を結集し、**世界最高水準の高度IT人材及び高度実践型理工系スペシャリストを育成するための教育拠点の形成を支援**

①先導的ITスペシャリスト育成

- ・ソフトウェア及びセキュリティ分野における高度IT人材を育成するための拠点を形成
- ・各拠点で得られた教材等の成果の全国的な普及展開を目指す「拠点間教材等洗練事業」を推進
- ・関係省庁・関係機関等が役割分担を明確にしつつ、有機的に連携して、全国的なコンソーシアムを形成

②高度実践型理工系スペシャリスト育成

- ・「産学人材育成パートナーシップ」における議論を踏まえつつ、「科学技術基本計画」において定められた理工系の重要分野について、高度かつ実践的な能力を備えたスペシャリストを育成するための拠点を形成

◆先導的ITスペシャリスト育成(H18～)◆

対象：大学院修士課程

支援規模・期間等：＜補助金額＞年間8千万円～1億円

＜支援期間＞4年間(中間・事後評価を実施)

採択実績：平成18年度 6件(申請：26件)

平成19年度 2件(申請：10件)

拠点間教材等洗練事業

～拠点における成果の効果的・効率的な普及展開等～

- 教材の洗練(収集・改編・共同開発等)
- ポータルサイトの構築
- ガイドライン策定(著作権問題等対応)
- シンポジウムの開催等の広報活動
- 教員等の教育力向上支援 (H21～)
- 社会人向け教育プログラム展開 (H21～)

【拠点の要件】

- ・他大学及び民間企業等との有機的な連携体制
- ・重点を置く分野及び目指す人材像が明確かつ特徴的
- ・学生の選抜方法(アドミッションポリシー等)が明確
- ・育成する学生数が1学年あたり20名以上
- ・補助期間終了後も自立的かつ発展的に運営
- ・関連する学士課程における教育との一貫性・接続性
- ・ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施
- ・成果の積極的な普及活動

◆高度実践型理工系スペシャリスト育成(新規)◆

対象：大学院修士・博士課程

支援規模・期間等：＜補助金額＞年間1.5億円

＜支援期間＞4年間(中間・事後評価を実施)

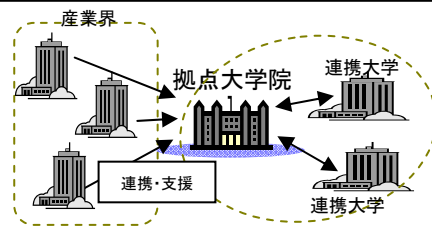
採択件数：平成21年度 10件(予定)

＜拠点形成分野の例＞

- ①環境・省資源技術
- ②ナノテク
- ③電子・情報技術
- ④ものづくり
- ⑤応用数学 等

ニーズの高い理工系の分野を設定

スペシャリスト育成拠点



科学技術基本計画

- 重点推進4分野■
ライフサイエンス
情報通信
環境
ナノテク・材料
- 推進4分野■
エネルギー
ものづくり技術
社会基盤
フロンティア

産学人材育成 パートナーシップ

分科会



※経済産業省と連携

関係省庁・
関係機関等と
コンソーシアム
を形成

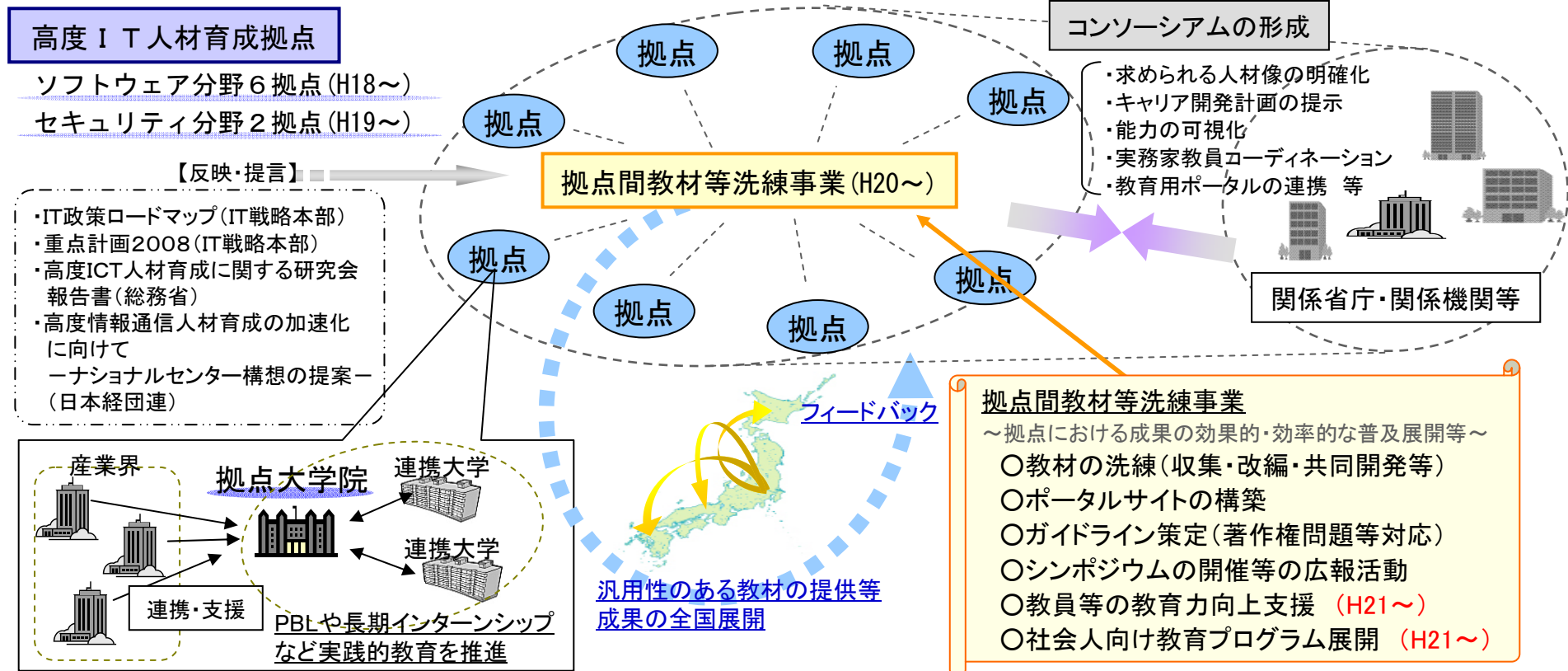
拠点間教材等洗練事業(H20～)

先導的 I T スペシャリスト 育成 推進 プログラム

－ 先導的 I T スペシャリスト 等 育成 推進 プログラム －

平成21年度要求額:1,043百万円(平成20年度予算額:828百万円)

- 大学間及び産学の壁を越えて潜在力を結集し、教育内容・体制を強化することにより、専門的スキルを有するとともに、社会情勢の変化等に先見性をもって対処できる世界最高水準の I T スペシャリストを育成するための教育拠点の形成を支援
- 各拠点における多様な教育プロジェクトの実施を通じて得られた教材等の成果を効果的・効率的に普及展開する「拠点間教材等洗練事業」のさらなる充実を図り、高度 I T 人材育成方策の全国展開を目指す
- 我が国の高度 I T 人材育成を一層効果的・効率的に推進するため、関係省庁・関係機関等が役割分担を明確にしつつ、有機的に連携して、全国的なコンソーシアムの形成を進める



高度実践型理工系スペシャリスト育成推進プログラム

－ 先導的 IT スペシャリスト等育成推進プログラム －

平成21年度要求額:1,500百万円(新規)

大学院が企業等と有機的に連携し、既存の専攻の枠を超えて高度かつ実践的な教育体系を構築することにより、産業界から真に必要とされる理工系スペシャリストを育成するための教育拠点の形成を支援

◆ 背景・課題 ◆

- 産学における育成すべき人材像のミスマッチが指摘
〔特定分野に関する深い知識・能力に加え、幅広い知識を使いこなす能力を有した人材のニーズが増大〕

◆ 対応策 ◆

「産学人材育成パートナーシップ」の議論も踏まえつつ、大学院(修士課程)が企業等と有機的に連携し、既存の専攻の枠を超えて高度かつ実践的なコースワークを構築することにより、産業界から真に必要とされる理工系スペシャリストを育成するための教育拠点の形成を支援

< 拠点形成分野 >

- ①環境・省資源技術
- ②ナノテク
- ③電子・情報技術、
- ④ものづくり
- ⑤応用数学 等を設定

※「第三期科学技術基本計画」や「革新的技術戦略」等を反映

◆ 期待される成果 ◆

- イノベーションを実現する質の高い理工系スペシャリストの輩出
- 産業界から真に必要とされるスキルを身につけるための実践的な教育プログラムの構築
- 理工系スペシャリストを育成するための教育プログラムの他大学への普及展開
- 理工系分野における人材育成・評価システムの確立

◆ ポイント ◆

- ①専攻の新設、必要な教員の確保、組織の見直しを推進
- ②支援期間終了後も継続的に高度実践型理工系スペシャリスト育成を実施

学長・研究科長のイニシアチブによる大学院教育システムの改革を実現

◆ 事業概要 ◆

対象:大学院(修士課程)

支援規模・期間等: <補助金額> 年間1.5億円

<支援期間> 4年間(中間・事後評価を実施)

採択件数:10件(予定)

【実践的な人材育成手法】

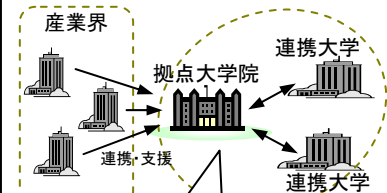
- ・専門講義群の構築・体系化、分野融合的なコースワーク
- ・共同研究型の教育実践プロジェクト
- ・評価手法を明確にしたインターンシップ 等

【目指す人材像】

- ・複数技術の組合せができる人材
- ・T型・Π型人材
- ・プロジェクトマネージャ(PM) 等

※ 拠点形成から2年度経過後を目途に厳正なる中間評価を行い、各プロジェクトの進捗状況を見極め、新たな分野への転換を行うなど、柔軟かつ機動的な分野設定に対応できるプログラム設計を行う。

高度実践型理工系 スペシャリスト育成拠点



既存の専攻の枠を超えた高度かつ実践的な教育体系を構築